●商学研究科博士後期課程入学から博士学位授与まで

入学

指導教員から研究科長宛に副指導教員案提出

研究

指導教員・副指導教員による指導

「博士候補」（doctoral　candidate）審査
（１）語学試験、（２）提出物による審査

英語語学能力試験
５月中旬・１０月中旬実施

・受験者はあらかじめ申込み時点で４つのコースから
２つのコースを選択、 試験では１問を選択して解答
※４つのコース･･･データサイエンス、マーケティング、
マネジメント、アカウンティング
・研究遂行能上必要な英語語学能力を確認する

合格

【博士論文作成許可願提出】
「博士論文計画書」提出
研究業績目録、研究業績(現物) 添付

◆出願資格
・公表論文２本以上（刊行確定 原稿を含む）
・後期課程在学３年間を超えないこと
（休学期間を除く）

◆記載事項
・論文の予定タイトル
・研究課題
・先行業績の特徴と論文の意義
・予定される論文構成
・主要資料リスト

在学３年以内（休学期間を除く）に論文計画書が提出できない場合は修了できないことが確定する

公開研究発表セミナー
発表４０分、質疑１５分

審査委員会による口頭試問（公開）

博士候補（doctoral　candidate）審査判定
アドバイザリー・ボード設置

◆合格判定基準
・研究課題の明確な提示
・先行業績に関する十分な知識と整理、
これに対する研究課題の意義と明確性
・研究課題の達成が合理的な程度に見込めること

作成許可

博士論文作成

アドバイザリー・ボードによる
指導

博士論文提出（学位申請）
春学期：４月下旬、秋学期：１０月下旬

原則、博士論文作成許可決定日以後、最長３年以内
（ただし後期課程在学５年半以内）

博士論文作成許可決定日以降３年以内（休学期間を除く）
ただし在学５年半以内（休学期間を除く）に論文が提出できない場合は課程博士を取得できないことが確定する
※2016年度以降生が、退学日から3年以内に、再入学と同時に論文を提出（論文審査在籍）する場合を除く

審査委員会による口頭試問

研究科委員会における審査

◆博士学位授与基準
・研究遂行能力、および論文作成能力の2点において、自立した研究者たる能力を持ち合わせていると認められること
・明示された研究課題が論文において達成されていること
・既存研究に対する一定の新たな貢献が認められること

研究科長会
９月上旬　春学期学位論文総合審査日
３月初旬　秋学期学位論文総合審査日
＊研究科委員会ではそれぞれの２週間前には決定